

ちどなみ



No. 33

目 次

1993年1月

犬公方と桂昌院 繁 田 幸 男 2

◇ 特 集 ◇ CD-ROM

パソコンで検索する文献情報 4

利用者の声

生物学の佐藤浩先生に聞きました 5

医学文献ガイダンス

CD-ROMと私の長い一日 小 野 公美代 6

もう少し早い時期に 石 河 利 広 6

機械に弱くても 桜 井 理 加 7

本学関係者寄贈図書 8

犬公方と桂昌院

内科学第三講座教授

図書館長 繁田幸男

江戸幕府の5代将軍綱吉は犬公方として知られた人物である。これはいうまでもなく天下の悪法とされた“生類憐みの令”からきている。生類を憐れむことは決して悪いことではないが、この令が人間より犬を大事にしたところに問題がある。

さてこの令が出されたいきさつは、周知のように綱吉に跡継ぎが生まれないのは、彼の干支である犬を殺生するからというお告げである。綱吉の生母桂昌院は彼女が深く信仰した護持院の僧からこのお告げを受けた。

わが子を溺愛していた桂昌院は、綱吉を説得して“生類憐みの令”を發布させた。この令により江戸を中心に“お犬様”にまつわる悲喜劇が頻発したことは、歴史書だけでなく小説や演劇など格好の材料になっている。江戸小石川では2万頭の犬が養われ、それに日々必要な米は膨大な量に上ったという。

綱吉は若い頃から大変学問好きであった。将軍になってからも側近を集めて自ら論語の講義をしたという。それもいわゆる“大家の義太夫”ではなく、相当なレベルの講義だったようである。このような人物がいくら生母の勧めとはいえ、こんな令を出したのであろうか。これは大きな疑問であった。

昨年夏恒例の医局旅行は三河の地に遊んだが、岡崎郊外の大樹寺で綱吉に関して大きな発見があった。大樹寺は徳川家の菩提寺である。大樹というのは将軍の別称であるから、この寺が徳川家と深い関係のあることがわかる。

ところでこの寺の仏壇には歴代将軍の位牌が並んでいる。この位牌群は大変特徴があって、生前の身長そのままの高さに作られているという。徳川家康の位牌は155 cmあって、当時の日本人としては中位の背丈だったようである。いずれにせよ位牌が死後間もなく作られているので、その高さは身長を正しく現しているといえよう。

驚いたことに一きわ低い位牌がある。高さ僅かに130 cm、これが綱吉であった。彼は小人症だった。この事実について綱吉に関する歴史書や小説に書かれているのを読んだ記憶が全くない。

これが事実とすれば、彼が“生類憐みの令”を出した理由も何となくわかるような気がするのである。最高権力者である彼は、部屋から一歩出るとたえず家来たちに上から見下げられるように感じたことであろう。この絶えざる逆転コンプレックスから人間よりも動物に情が向かっていたのではなかろうか。

いずれにせよ将軍綱吉の位牌を見たときは大変なショックを受けたものである。

桂昌院はこの令の提案者として悪名高いが、大きな功績も残していることを見逃してはならない。当時法隆寺をはじめとする大和の一部の諸寺は荒廃していた。彼女は仏教に対するひたむきな信仰心の強さから、これら諸寺の再建に大きな役割を果たしたのである。法隆寺は彼女の財力による寄進がなければ、廃寺に追い込まれたのではないかといわれる。歴史上の人物は一面からだけではなく、多方面から評価する必要があるという所以である。



新ILL（図書館間相互貸借）稼働開始

図書館では、学術情報ネットワークによって、本学にない文献のコピーの取り寄せを行っています。これまでの郵便等による依頼に比べ、時間が短縮されますので、皆さんのお手元に文献コピーが届くのも、早くなりました。

パソコンで検索する文献情報

1階カウンターの向かい側に、数台のパソコンが設置されています。これらにより、文献情報が容易に検索できます。目的にあわせてご利用ください。

まずは本学にあるCD-ROMの紹介から。

CD-ROM MEDLINE

世界中の医学関連文献を集めたデータベースです。キーワードや著者を検索キーにして文献情報を取り出せます。検索可能年代は1966年～1992年までです。

データは、月1回追加されます。

CD-ROM 医学中央雑誌

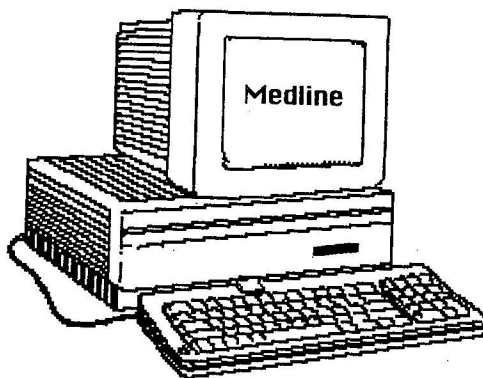
国内医学文献のデータベースです。和雑誌についての文献情報に強いです。現在のところは、1989年以降のデータが検索可能です。

データは、年4回追加されます。

Current Contents on Diskette

Life Sciences 編と Clinical Medicine 編の2編を提供しています。タイム・ラグのない早い文献情報を得ることができます。

データは、毎週更新されます。



一昨年、上記の各資料を導入して、多くの皆様にご利用いただいております。

CD-ROM の利用は、無料で、だれもが自由に利用できますが、「CD-ROM 文献検索利用簿」には必ず記入してください。

利用できる時間帯は、

月曜日～金曜日 9:00～19:45

土曜日 13:00～16:45

となっています。

終了時間の5分前に「終了のお知らせ」のアナウンスが流れ、機器の電源が自動的に切断されるようになっています。放送が流れれば、すみやかに終了するようにしてください。

生物学の佐藤浩先生に聞きました

「CD-ROM MEDLINE」や「Current Contents on Diskette」は実際にはどのように利用されているのでしょうか。

検索を終えられたばかりの生物学の佐藤浩先生にお尋ねしました。

Q：図書館には週に何回くらい来られますか。

佐藤：週に1回位です。本当はもっと来たいのですが。

Q：図書館へ来られる主たる目的は何ですか。

佐藤：それは、はっきりしています。自分の研究に関する最新の論文が知りたいからです。ですから、図書館に来たら、まず、パソコンで「Current Contents」を検索します。

私は、黄疸の黄色の色素 Bilirubin について研究しています。ですから、今、Bilirubin でどのような研究がなされているか、知っていなければなりません。Bilirubin をキーワードにしてどんな文献がひっかかるか、CD-ROM だったら瞬時にみることができます。本当はゆっくり雑誌に目を通せばいいのですが、最近は気忙しくて、それがなかなかできません。

でも研究上どうしても知らなければならない情報があります。それをキーボードをたたくだけで容易に取り出すことができます。

Q：「CD-ROM MEDLINE」はお使いになっていますか。

佐藤：読みたい文献があっても、うろ覚えの場合があります。なんという雑誌だったかとか、何巻の何ページだったかとか。それらを簡単に調べることができますね。

それと、滋賀医科大学を訪問される研究者を案内する際、その方のプロフィールを知るのに、著作リストを出してみたりします。

Q：パソコンと今までの印刷物と、どちらがいいですか。

佐藤：今までの印刷されたものの目次を眺めてみる。これも、いいですよ。

Science とか Nature それから Proceedings of National Academy of Sciences USA といった一流の雑誌の目次を眺めていますと、論文のタイトルだけで今の全体の流れがつかめます。研究の最前線の流れがわかります。私の研究領域とは別の領域のだけれど見えそうだと、というのが、みつかることがあります。

だから、周りをみたり、流れをつかむには、印刷物もいいですね。

Q：図書館に対する希望・要望等がありましたら、お願いします。

佐藤：「Current Contents」は、大学の研究者にとっては最も重要で、大事にしなければならない、実戦的な資料なんです。雑誌の目次を全部見ることができますし、著者の住所もチェックできますから、論文の請求をすることができます。抄録さえ読めば、この研究はもう先にやられたのか、ということで方向を変えることもできます。

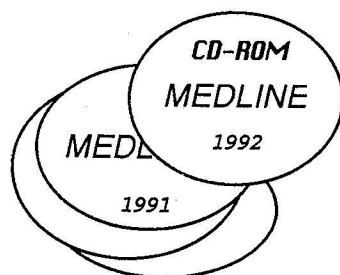
だから、「Current Contents」を大事にしてほしいですね。雑誌名さえわかれば、あとはコピー依頼をしたりで、なんとかなるんですから。

医学文献ガイダンス

CD-ROM MEDLINE CD-ROM MEDLINE CD-ROM MEDLINE CD-ROM MEDLINE

去る9月9日と9月30日の2回にわたって、臨床実習に入った第5学年の学生を対象に、「医学文献の調べ方に関するガイダンス」を実施しました。「CD-ROM MEDLINE」の検索法を中心としたものです。

はじめて文献検索をしたという3人に、ガイダンスに参加しての感想を書いて頂きました。



CD-ROMと私の長い一日

第5学年 小野 公美代

医学文献検索ガイダンス・・・？ 行くの面倒だなあ・・・ コンピュータとかがって苦手だしなあ・・・ 外はいいお天気だしなあ・・・ とか何とか思いつつ、他の人達につられて何となく参加した私だったのに、図書館のおじさん達にいろいろ教えてもらって、ガイダンスが終わる頃には自分で検索できるようになり、丁度その時必要だった資料の検索もできて本当に良かったと思っていたのに、1週間程して、もう一度検索に行ったら使い方が分からなくなっていて、それでも横に置いてあった説明書を見つけて何とかかなりそうだったのもつかの間、検索したかった病名の略語しか思いだせず、略語でも何とかなさ、と検索を始めたのに、画面に出てきた“件数0”の文字をみて、やっぱり駄目かとあきらめかけていたら、通りがかった友達が教えてくれて、無事検索を終えることができ、めでたしめでたしと思っていたら、感想文の依頼が来て、今日が締め切り、早く書かなくっちゃ・・・。

もう少し早い時期に

第5学年 石河 利広

医学文献ガイダンスで、初めて検索用の端末をいじることができた。図書館に行く度に端末を操作している人々を目にする機会は多々あったが、誰でも使っているものだとは今回初めて知った。こういうガイダンスがあるというのは非常によいことだと思う。これからは、機会があればどしどし利用

させてもらいたいと思う。

今回、この時期にガイダンスが行われたのは、臨床実習が始まり文献検索を利用する機会も出来るだろうということなのだろう。けれども、私思うに、もう少し早い時期に行ってもいいのではないか。4年生になると臨床講義というものが始まる。学生がグループである症例について講義をするというものである。この時に検索端末の操作を知っていれば、それを利用してよりよい臨床講義ができるという可能性がなくはない。よって、4年生ぐらいでガイダンスをやってもいいと思うのである。

機械に弱くても・・・

第5学年 桜井理加

「機械による文献検索は初めてである。しかも、言うのも憚れるが、私は機械に弱く、どうも人より呑み込みが悪い。」アンケートにこう書いていれば編集のかたに、感想文を依頼されることも無かったであろうが、そのような事実を忘れて「興味深い」と素直に書いたのだった。「自分も苦手だ」と思う方が、CD-ROMの存在と有用性に気付いて怯むことなく検索をしてくださるようと、この文を書く次第である。

実際、このシステムは、キーワードからの検索で論文件数を表示し、更に二つの事象に対応する論文の検索もかなりの速さで行ってくれる。項目（例えば著者）を指定すれば、手に入れた論文を更に絞り込むことができる。このようにして限定した論文は、画面に表題・雑誌名・掲載号等の他、抄録まで表示してくれるので、画面の前の椅子に掛けていながらにして、自分にとって必要なものであるかまで見極められる。

機械音痴の私が驚くのも無理はない。そして、操作に難しいところもない。何より、図書館の方が親切に相談にのってくださる。病院実習の開始に合わせて検索演習をしてくださったが、基礎医学に進んだら、知っていて得をするものであると思う。

検索のワンポイント

CD-ROM MEDLINE の検索は一度に5年分

導入当初は1年ごとに検索しなければならなかったのですが、昨年に入って5年分の一括検索が可能になりました。

詳しくはマニュアルをご覧ください。

CD-ROM MEDLINE の簡単なマニュアル

基本的な操作法にしばったマニュアルを作成しました。カウンターに置いてありますので、遠慮なくお持ちください。

本学関係者寄贈図書

天方義邦(麻醉学講座・教授)

現代麻醉科学

朝倉書店 1987

石黒達也(産科婦人科学講座・講師)

Indoor Air Quality.

Springer-Verlag 1990

岡田慶夫(附属病院長)

肺表面活性物質の現在

真興交易医書出版部 1990

肺癌その成り立ちと臨床

金芳堂 1991

越智淳三(解剖学第二講座・教授)

解剖学アトラス 第3版

文光堂 1990

加藤進昌(精神医学講座・助教授)

躁鬱病の薬理生化学〔1〕

金剛出版 1989

精神疾患の分子遺伝学

学会出版センター 1992

北原正章(耳鼻咽喉科学講座・教授)

Meniere's Disease.

Springer-Verlag 1990

小林 博(社会科学総合・非常勤講師)

湖国

啓文社 1991

繁田幸男(内科学第三講座・教授)

糖尿病・代謝病へのアプローチ 第4版

医学書院 1988

糖尿病 あなたが主治医

南江堂 1991 第2刷

Recent Advances in Insulin Action and its Disorders

Excerpta Medica 1991

インスリン療法マニュアル

文光堂 1992

高橋三郎(精神医学講座・教授)

現代の精神医学 改訂第2版

金原出版 1990

DSM-III-R ケースブック 第2版

医学書院 1990

DSM-III-R ケースブック 面接法

医学書院 1992

DSM-III-R 小児精神障害の診断

医学書院 1992

プライマリ・ケア 一般診療医に必要な精神科の知識
第3版

西村書店 1992

寺田信國(外科学第一講座・助手)

わかりやすい免疫学

メディカルレビュー社 1991

戸田 昇(薬理学講座・教授)

Serotonin:Molecular Biology,

Receptors and Functional Effects

Birkhauser 1991

挾間章忠(病理学第二講座・教授)

Endothelial Cell Dysfunctions

Plenum Press 1992

畑中正一(元非常勤講師)

がんはどこまでわかったか Part.2

講談社 1991

半田譲二(脳神経外科学講座・教授)

MRI 診断のための脳解剖図譜

南江堂 1990

脳神経外科チームのための患者管理の実際

第3版

メディカル・サイエンス・インターナショナル 1992

横田敏勝(生理学第一講座・教授)

臨床医のための痛みのメカニズム

南江堂 1990

御惠贈、ありがとうございます。図書館の蔵書として広く利用に供させていただきます。

滋賀医科大学附属図書館報『さざなみ』 No.3 3

1993年1月発行

編集委員 山元健路・沼澤 博・菅 修一

発行 滋賀医科大学附属図書館
TEL 0775-48-2080

〒520-21 大津市瀬田月輪町
FAX 0775-43-9236